

# 鹿屋市・鹿屋体育大学産学連携事業

## ープロ野球選手の体力測定に関する報告ー

高井 洋平<sup>1)</sup>, 山崎 利夫<sup>2)</sup>, 前田 明<sup>3)</sup>, 隅野美砂輝<sup>2)</sup>, 山本 正嘉<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター

<sup>2)</sup>鹿屋体育大学スポーツライフスタイル・マネジメント系

<sup>3)</sup>鹿屋体育大学アドミッションセンター

### 【本事業を行った経緯】

鹿屋市が地域振興を図るために、産学官の連携によってプロスポーツ選手等の合宿・自主トレーニングを行う街づくりを推進するもので、今年度より始まった試みです。鹿屋体育大学では、鹿屋市で合宿・自主トレを行うプロスポーツ選手等の競技力向上のための体力測定を請け負いました。初年度は、福岡ソフトバンクホークスの和田毅投手をはじめ合計12名のプロ野球選手が体力測定に参加しました。

・ 参加選手の名前

H23.1.11-12

前田大和 選手, 高濱卓也 選手, 森田一成 選手  
(いずれも阪神タイガース)

H23.1.14

藤岡好明 選手, 江川智晃 選手, 高橋徹 選手  
(いずれも福岡ソフトバンクホークス)

H23.1.17-18

鶴岡慎也 選手 (北海道日本ハムファイターズ)

H23.1.19-25

和田毅 選手, 大場翔太 選手, 柳川洋平 選手  
(いずれも福岡ソフトバンクホークス)

黒羽根利規 選手 (横浜ベイスターズ)

赤川克紀 選手 (東京ヤクルトスワローズ)

### 【プロスポーツ選手の測定の内容】

スポーツ選手の競技力は、主に体力と技術から構成されています(猪飼, 1978)。これに基づいて、野球選手に必要な体力と技術の項目について先行研究の知見を調べ、本学で測定可能な項目を選択し、実際に測定を行いました。図1に測定内容を示します。測定は、選手がそのデータをトレーニングに活

用できるものであることと、合宿・自主トレーニングの妨げにならないように、事前にトレーナーとスケジュールおよび測定内容について十分に議論して行いました。測定後には、選手、トレーナーおよび大学関係者で3者によるデータに関するディスカッションを行いました。

今回のプロ野球選手の体力測定を機会に、本センターではジュニアからトップアスリートまでの体力特性および技術の特徴に関するデータを収集し、プロスポーツ選手およびジュニアアスリートの競技力向上に活かすことができる科学的サポートプログラムを構築していくことを考えています。

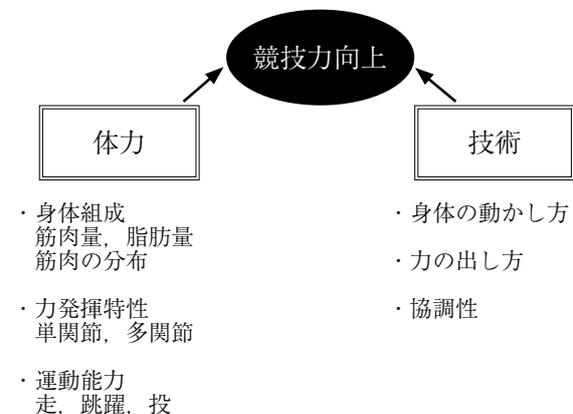


図1 プロ野球選手の体力測定内容

